



神奈川県立

# 高P連会報

事務局 横浜市神奈川区神之木台22番14号  
県青少年課神之木台分館内  
TEL 045-432-5889  
FAX 045-432-5891  
E-mail kana.koupren@kanagawa-koupren.org  
編集・発行 神奈川県立高等学校PTA連合会  
調査・広報委員会

## 第47回 高P連県大会 「学び・行動するPTA」

2009.11.16  
パシフィコ横浜



安全振興会理事長 諸星照美様  
校長会会長 山本正人様  
県教育委員会教育長 彰、昼食を  
午後10時、各校のPTA  
代表、講演が  
行われまし  
た。

今年度は、午前の部で県高P連活動に貢献された関係者に対する表彰、昼食を午後10時、各校のPTA代表、講演が行われました。



3校のPTAの研究発表と、講演会からは「コミュニケーションの大切さ」「規範意識と思いやりを持った子供の育成」

互いに理解しあい協力する姿勢「あたりまえの平和の大切さ」「子どもときちんと向き合う事の大切さ」など、たくさんの方の事を学べた有意義な大会となりました。

「学び・行動するPTA」を指し、「心豊かで心身ともに健全な青少年の育成を願って、家庭教育の充実と家庭・学校・地域の相互連帯を通して、高校教育の振興・支援を図る」ことを目的に掲げ、これからのより良いPTA活動に活かせる事を願い、約千名の会員が一堂に会し、11月16日パシフィコ横浜会議センターで開催されました。

PTAは、学校に対する「お手伝い」をしています。では、子どもたちはどんな「お手伝い」をしているのか？からアンケート調査や座談会を実施。その中から親子の「ずれ」を見つけていくことができた。「ずれ」がもたらす問題をどう解決していくか？高校生となった今だからこそ「お手伝い」は「親子のコミュニケーション」を図る大きな一つの手段であり、親子一体で学校の「お手伝い」をしている活動が報告された。

「近隣小・中学校と連携しPTA活動」食育を通して、生活習慣の改善や近隣学校との連携を図り、共通の話題（早寝・早起き・朝ご飯）を持つ

「鶴見総合高等学校PTAのお手伝い」PTAは、学校に対する「お手伝い」をしています。では、子どもたちはどんな「お手伝い」をしているのか？からアンケート調査や座談会を実施。その中から親子の「ずれ」を見つけていくことができた。「ずれ」がもたらす問題をどう解決していくか？高校生となった今だからこそ「お手伝い」は「親子のコミュニケーション」を図る大きな一つの手段であり、親子一体で学校の「お手伝い」をしている活動が報告された。

「湘南高等学校PTAの子どもの自立を支援するPTA」モラルサポートの取り組み、モラルサポート（過度に手をかけることなく子どもの自立的な活動を見守る）の考えをPTA活動に活かす、保護者の成長「相互理解に基づく環境整備」「子どもへのメッセージ」という三本の柱を具体化する活動例を発表。全県学区化という県立高校PTAの取り巻く環境の変化に応じた活動の見直しを課題として提示した。

講演は、池田香代子氏を講師としてお招きし、「100人の村、あなたもここに生きています」(県教育委員会 人権教育PTA研修会)

ことによると、縁を深め将来の親学を学ぶ。また、近隣小・中学校と連携することによって、単独では呼べない講演者や、情報交換などで、問題解決にもつながる。

講演は、池田香代子氏を講師としてお招きし、「100人の村、あなたもここに生きています」(県教育委員会 人権教育PTA研修会)

「100人の村、あなたもここに生きています」(県教育委員会 人権教育PTA研修会)

講演は、池田香代子氏を講師としてお招きし、「100人の村、あなたもここに生きています」(県教育委員会 人権教育PTA研修会)

「100人の村、あなたもここに生きています」(県教育委員会 人権教育PTA研修会)

講演は、池田香代子氏を講師としてお招きし、「100人の村、あなたもここに生きています」(県教育委員会 人権教育PTA研修会)

**いよいよ開催!!**  
**関東大会神奈川大会**  
期日 7月8日(木) 9日(金) 会場 パシフィコ横浜 他

きたる、22年7月8日、9日に第56回関東大会が、ここ神奈川県で開催されます。会場は、パシフィコ横浜をメイン会場とし2日間にわたり行います。県高P連では、実行委員会を発足し、メンバーとなり、企画・運営方法を検討中です。

会員の皆様の絶大なご支援、ご協力を得まして、大会の成功に向け、進んで参ります。会員皆様方の一層のお力添え、よろしくお祈りいたします。 たくさんの会員の参加をお待ちしております!

**会長のつぶやき**  
神奈川県高P連 会長 岸 千明

昨年10月21日の知事との県政トークの中で「受験生に優先的にワクチン投与をお願いしたい」と発言したのを思い出します。センター試験も終わり、これから各種の入試も始まり受験生を持つ会員の皆様も受験生以上に気を配られる事と思います。入社も大学も高校も中学も「さくら咲く」も、もう少しです。子どもたちを信じ、心静かに応援し、心強く待ちましょ。

さて、本年7月8・9日 関東地区大会神奈川大会が開催されます。関東地区高等学校七県より参加者約5000名規模の大会となります。会員の皆様にも多大なる御支援、ご協力を頂くこととなります。大会の成功に向け、会員の皆様方の一層のお力添え、よろしくお祈りいたします。

**会長のつぶやき**  
神奈川県高P連 会長 岸 千明

会員の皆様、こんにちは。昨年のなかごろから世界中に猛威を放った新型コロナウイルスも落ち着きを見せるようになり、県立高校では延べ約400校、5430名が学年閉鎖、学級閉鎖の被害をこうむりました。

犬を飼ったことのある方は、犬がどれほどの癒しを与えてくれるかは、身近に感じていることだと思います。(ただし、ドッグセラピーは誰にもいい治療とは言えません。犬が好きなようであれば、犬が大好きだ!という人が大前提で、犬嫌いな人にドッグセラピーの治療は返ってストレスとなり効果は期待できないでしょう。)

今後、たくさんのセラピードッグが活躍して、人間の生活に癒しを運んでくれる社会になるのでしょうか? ストレス社会といわれる現代、皆さんも自分に合ったストレス解消法を見つけてみてはいかがでしょうか?

第55回 関東大会(山梨大会)発表校 神奈川県立新羽高等学校

**高校生の「食」について考える**

平成21年7月3日~4日の両日、関東7県3300名が山梨県甲府に参集、第55回関東地区高等学校PTA連合大会が開催されました。

2日目の分科会において、「高校生の「食」について考える」をテーマに発表させていただきました。昨年度、新羽生の「食」大丈夫?から始まった「食」に関するアンケート調査、栄養バランスのとれたお弁当づくりを学ぶ講習会。さらに、今年度、昨年度のPTAの取り組みが連携した形で実現した、手作り弁当の校内販売。その業者との懇談会。「食」を作るといふことに関心を持ってもらいたいと考え行われた「PTAすいとん作り講習会」を加え発表しました。

今年度の2つの取り組みを通して、生徒たちとの会話が弾み、人の輪が広がりました。「食」は、コミュニケーションの源であり、心と体の健康をもたらす、調理することによって子どもたちの好奇心や達成感、さらには自分の存在感が育まれるのではないかと思います。

今回の発表を通して、PTAの活動が学校や地域と連携して広がれたことを嬉しく思うと同時に、これからもできることを続けていきたいと思っております。

新羽高等学校PTA会長 松田 絵里

**気象台**

癒しの効果  
「ドッグセラピー」

いまや一大ペットブームが起り、子供の数よりイヌ・ネコの数が多というペット大国日本。そんな人間の心のケアに貢献するドッグセラピーが、いま、とても注目されています。

病院や施設と一緒に訪問して、病気を抱えたり高齢者の方などが、触れたいすることや安心感が生まれ癒しの効果が期待でき、その癒しの効果で痴呆症の方の症状がよくなっている事例があり、特に老人にとってはとても効果のある治療だそう。

犬を飼ったことのある方は、犬がどれほどの癒しを与えてくれるかは、身近に感じていることだと思います。(ただし、ドッグセラピーは誰にもいい治療とは言えません。犬が好きなようであれば、犬が大好きだ!という人が大前提で、犬嫌いな人にドッグセラピーの治療は返ってストレスとなり効果は期待できないでしょう。)

今後、たくさんのセラピードッグが活躍して、人間の生活に癒しを運んでくれる社会になるのでしょうか? ストレス社会といわれる現代、皆さんも自分に合ったストレス解消法を見つけてみてはいかがでしょうか?

第33回  
平成21年度

PTA  
広報紙  
コンクール

平成22年1月25日午後2時より、かながわ県民センター2階ホールにて平成21年度 第33回 広報紙コンクール表彰式・講演会が開催されました。

1月13日、神奈川新聞社 狩野様を審査委員長にお迎えし、県教委・校長会・安全振興会・高P連 石井副会長の審査委員による厳正な審査の下、応募総数83の中から金賞4校、銀賞4校、銅賞7校、特別賞(安全振興会賞)1校の16校が選出されました。

寒中たくさんの方々に参加され、賞の発表までみなさん緊張した様子でしたが、発表後は受賞者の喜びの笑顔と、たくさんの暖かい拍手に包まれ、和やかな表彰式となりました。

最優秀賞は、横須賀高校PTAでした。昨年は金賞と特別賞のW受賞、そして今年初の最優秀賞となりました。おめでとうございます。

来年度も、多数のご応募お待ちしております。

表彰式後、「人の心をつかむ、魅力的なメディアとは？」という演題で、雑誌「マリ・クレール」元編集長・生駒芳子氏の講演が行われました。

人に何かを一番いい形で伝えるための方法、固いメッセージを柔らかく楽しく伝えるためにはキャラクターやキャッチコピーが効果的であるという事。また、雑誌編集者らしい斬新なアイデア、書く側・読む側になっての原稿の作り方などを伝授して下さい、とても内容の濃い楽しい講演でした。

最後に(財)神奈川県立高等学校安全振興会作文コンクール最優秀賞作品、県立神奈川総合高校、太田ひろさんの『傘かじり』、県立柏陽高校、村松泰聖さんの『走ることと小さな世界のこと』の2作品を本人の朗読で紹介していただきました。

高校生の素晴らしい作品に盛大な拍手の後、閉会となりました。



講師 生駒 芳子氏



横須賀高校  
初V

**金賞**

(左より)  
県立高等学校校長会賞  
大船高等学校PTA  
神奈川新聞社賞  
小田原高等学校PTA  
県教育委員会教育長賞  
横須賀高等学校PTA  
県立高等学校PTA連合会賞  
平塚商業高等学校定時制PTA

**銀賞**

(左より)  
県立高等学校校長会賞  
厚木清南高等学校PTA  
神奈川新聞社賞  
神奈川総合高等学校PTA  
朝県立高等学校安全振興会賞  
海老名高等学校PTA  
(写真なし)  
県立高等学校PTA連合会賞  
希望ヶ丘高等学校PTA

**銅賞・特別賞**

(上段左二人目より)  
県立高等学校PTA連合会賞  
市ヶ尾高等学校PTA  
深沢高等学校PTA  
鎌倉高等学校PTA  
(下段左より)  
県立高等学校PTA連合会賞  
多摩高等学校PTA  
有馬高等学校PTA  
上溝南高等学校PTA  
七里ガ浜高等学校PTA  
(上段左)  
特別賞(表紙)  
生田高等学校PTA

PTA広報紙は、読者が保護者や生徒ら学校関係者に限られ、新聞制作とは大きな違いがあります。広報紙の審査委員が務まるだろうか、不安がありました。ただ、本年度応募された83校分の広報紙を審査して感じたのは、新聞も広報紙も対象者に読んでもらわなければ価値がない点で共通しているように思います。

広報委員の皆さんが、多忙の合間に広報紙づくりに取り組んでいる様子がどの広報紙からも伝わってきましたが、受賞校の広報紙は、とりわけ読者にやさしい紙面づくりができていま

した。読者を意識して「見やすさ・読みやすさ」を追求していけば、おのずと質の高い広報紙になるように思います。

審査会で金賞・最優秀に選出された横須賀高校PTAの広報紙「JOURNAL」は、表紙を飾った体育祭の一場面が生徒の躍動感をうまくとらえていました。特集では、タイムリーな裁判員制度を取り上げて分かりやすく紹介するなど、読者を引き付ける素晴らしい広報紙に仕上がっていました。

**地区大会報告**  
『学び行動するPTA活動を目指して』

今年度の地区大会は8月に行われた専門教育部会を皮切りに県下10地区で2か月にわたり開催されました。参加者の総数は2600人を超え、どの大会も盛会のうちに終了しました。各地区の理事校、発表校及び関係の皆さまのご尽力に心から感謝申し上げます。

各地区とも概ね講演と研究発表の二部構成でした。講演では「食育」「家庭教育」「道徳教育」等の教育問題から、昨今大きな社会問題となった薬物乱用問題まで幅広い話題を取り上げられました。この事は高校生を取り巻く環境を正しく理解し、向き合い、対処しようとする保護者の心情を反映したもので、講演では分科会形式で全員参加型の

それそれぞれのPTAが活動の問題点や課題を掘り起こし、より良いものを目指して独自色を出しつつ活動を展開していることと努力、工夫する様子が生き生きと報告されていきました。発表のテーマや内容が素晴らしいのは言うまでもありませんが、構成の面でも大変よくまとまっており映像、ナレーションなども時間をかけて入念に準備されたことがよくわかるものばかりでした。各地区の大会成功は参加者に相互の交流と大きな刺激をもたらした。今後の単P、地区協議会については高P連全体の活動の発展につながるものと考えます。

(研修委員会)

**交通安全大会**  
『交通安全は生命の尊重から』

今年度も、10地区における「交通安全大会」が、会員の皆様の協力のもと開催できました。発表校においては、時間をかけての準備等おつかれさまでした。全地区盛会に終了できましたことを御礼申し上げます。

発表各校における、自転車点検、交通指導など様々な活動が紹介され、参加者からは自校でも取り組んでいきたいという声がたくさん聞かれました。安全への熱い思いは同じです。また、生徒による発

加害者になる危険をもっています。どうぞ家庭で、もう一度交通规则やマナーについて、確認し話し合ってみてください。知らなかったり、誤って覚えている交通规则って、結構あるものですよ。

(健全育成委員会)

**編集後記**

「広報の前に調査がついているよね。」から始まった調査、賠償責任保険の記事。少しでも、皆さんのお役に立てる記事づくりを目指して！ (E・M)

「たった十数回の集まりですが、みんなのすごさがわかりました。手ごたえ(歯ごたえ)のある1年。みんなに感謝。」 (P)

「やっとの思いで、発行に至りました。ご協力頂いたみなさん、ありがとうございました。」 (K・K)

「今年度様々な大会と研修会に参加して感じたこと。ためになる話が沢山あり、もっと沢山の方に参加して欲しいと思いました。」 (S・O)

「ブログやeメールといった「デジタル活字」の現在の「活字を発信する側」としての重責ひとしきり／川

**あっ発見! 高P連ホームページ**

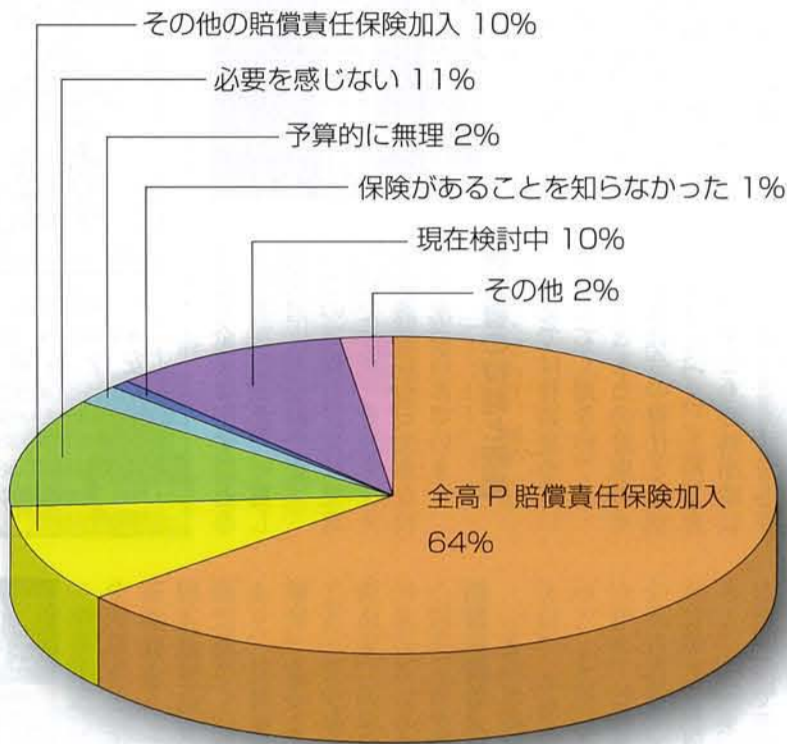
みつけただけでなく、どうぞ、覗いてみてください!  
各地区の情報。高P連の各会議の報告。質問コーナー。等々ホームページの存在を知っている会員は、最近増加してきました。が、全体の50%程度です。その中で、ログインされた会員は、悲しいことにごく僅かです。もっと、たくさんの会員の方のログイン、お待ちしております。

<http://www.kanagawa-koupren.org>

# 賠償責任保険についてアンケート結果

お忙しい中、アンケートにご協力有難うございました。132校より回答をいただき集計をさせていただきました。左のグラフから、74%の高校が賠償責任保険に加入していることがわかりました。反対に11%の学校で必要性を感じないという回答がありました。今回のアンケートから、神奈川県の高全P賠償責任保険の支払い状況はどうだろうかと考え調査しました。平成21年4月から11月の支払い件数24件。対物賠償が19件、対人賠償が5件。事故の種類は、ガラスの破損が最も多く11件、次に自転車、自動車事故が6件でした。もっとも支払い額が多かったケースで 230,200円でした。全国では、学校什器使用中に起こった事故で520,368円支払われたケースもありました。

保険は万が一の為のものです。何もないと高いかな、いらなかなと感じますが、我が校では転ばぬ先の杖と思い、年間1世帯200円、PTA会費の半月分で加入できるならと加入しています。昨今、自転車の賠償事故も増えています。今回のアンケートが、PTAでの話し合いの機会になっていただければと思います。



	全高P賠償責任保険	A社	B社
保険料	200円	100円	250円
対人賠償限度額	PTA 5000万円	5000万円	1億円
対物賠償限度額	PTA 5000万円	500万円	2000万円
	生徒対物対人合算で1億円		

## 高校生ボランティアセンター 新規スタッフ募集

県教育委員会では、平成18年度より生涯学習情報センターの一部に高校生ボランティアセンターを設置し、高校生のボランティア活動の支援を進めています。

平成21年度は、県内の高校から応募したスタッフ80名が、環境・国際・青少年・福祉の4分野のグループに分かれ、高校生が参加するボランティア企画をそれぞれ計画・実施することにより、多くの高校生が参加しました。

高校生ボランティアセンターでは  
**■平成21年度 高校生ボランティアセンター活動発表会の参加者募集**

(日時：3/14(日)13:30~16:00  
 会場：かながわ県民センター5階  
 申込締切：3/6(土))

■平成22年度 新規スタッフ募集

(募集人数：60名程度 応募締切：4/27(火))を行います。詳しくはホームページをご覧ください。各学校へ送付する募集案内(3月送付予定)をご覧ください。

高校生ボランティアセンターホームページ [http://www.planet.pref.kanagawa.jp/k\\_vol/k\\_vol\\_top.htm](http://www.planet.pref.kanagawa.jp/k_vol/k_vol_top.htm)

●問い合わせ/県生涯学習情報センター ●  
 電話045(312)1121  
 内線2506

## 保護者向け携帯電話教室 ~安全・安心な使用に向けて~

子どもたちの携帯電話の安全・安心な使用のため、携帯電話会社のCSR(社会的貢献)活動により、講師を派遣していただき、保護者向けの携帯電話教室を実施しています。

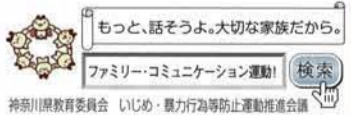
子どもたちがトラブルに巻き込まれ、被害者や加害者とならないようにするため、保護者の皆様も携帯電話に関する犯罪やトラブル等の現状を認識し、携帯電話の安全・安心な使用について理解を深めていただきたいと思います。

保護者向け携帯電話教室の開催を希望される場合は、児童生徒指導室まで。

## ファミリー・コミュニケーション運動

「もっと、話そうよ。大切な家族だから。」というキャッチフレーズのもと、相手を思いやり大切にできる子どもを育てるため、家族のコミュニケーションを深める環境づくりを推進しています。

詳しくは県ホームページをご覧ください。



●問い合わせ/児童生徒指導室 ●  
 電話045(210)8295

## ~朝食をしっかりと 食べましょう!~

人間が健康に生きていくうえで、「食」は欠かせない、大切なものです。特に、成長期にある高校生にとって、健やかな心と体を育むためには、栄養バランスのよい調和のとれた食事が大切です。

しかし、本県の食生活調査では、小・中・高と校種が上がるにつれて、朝食の欠食率が高くなるという結果が出ており、携帯電話やインターネットなどの利用による睡眠時間の不足から、朝なかなか起きられず、朝食が食べられないといった状況が見られました。朝食は、心の健康や体力、さらには学力にも関係があります。

朝食を食べると寝ている間に下がった体温が上昇し、体が目覚め、脳が活性化されるのです。午前中の勉強や運動に対する集中力を高めるためにも、まずは、朝早く起きて、朝食をしっかりと食べる習慣を身に付けさせましょう。

そして、朝食の献立には、ごはんなどの主食、肉や魚、卵などを中心とした主菜、野菜や海藻を使った副菜等、いろいろな食品を取り入れましょう。毎日のバランスの良い食事を通して、子どもたちが充実した高校生活を送ることができるようサポートしましょう。

●問い合わせ/保健体育課 ●  
 電話045(210)8305

## 第19回全国産業教育フェア 神奈川大会が開催されました 御来場ありがとうございました!

平成21年11月14日(土)~15日(日)の2日間、パシフィコ横浜をメイン会場に全国から専門学科等の高校生が集い「第19回全国産業教育フェア神奈川大会」が開催され、日ごろの学習成果を発表しました。

初日はあいにくの天気でしたが、神奈川の地に黒船でやってきたペリーに、産業教育フェアをタイムスリップして紹介するという生徒の寸劇で開幕し、県立厚木商業高校音楽部が大会イメージソング「Minato Mirai」を合唱し盛り上げました。展示ホールでは全国及び県内の高校や特別支援学校等の生徒による作品展示、研究発表、生産物販売や農業高校生の「フワーアレンジメントコンテスト」が開催されました。

二日目は晴天のもと、多くの来場者が訪れ、工業高校生の「ものづくりコンテスト全国大会」等も行われ、前日の農業に続き、県内高校生が上位入賞を果たしました。

大会の様子につきましては、本大会のホームページをご覧ください。

<http://sanfair.jp>

●問い合わせ/高校教育課 ●  
 電話045(210)8276

## 今春、新しい県立学校 6校が開校します

平成22年4月に、県立高校改革推進計画後期実施計画等に基づき、新しいタイプの高校5校と特別支援学校1校が開校します。

**【藤沢清流高校(藤沢市)】**  
 多様な進路希望や学習希望への対応と自己の可能性を開拓していく教育の展開

**【相模原青陵高校(相模原市)】**  
 様々な教育に対するニーズへの対応と多文化社会の理解を深めるための学習

**【吉田島総合高校(開成町)】**  
 これまでの専門学科の機能を活用し実践的・体験的な学習を展開

**【川崎工科高校(川崎市中原区)】**  
 工業分野で活躍する人材を育成するため社会の変化に応じた工業教育を展開

**【相模向陽館高校(座間市)】**  
 昼間の時間帯に学ぶことができる定時制の単独校として、多彩な教育の展開と地域との協働の「学びのネットワーク」の構築

**【岩戸養護学校(横須賀市)】**  
 「自立」と「社会参加」を実現するために、キャリア教育を推進する高等部単独の特別支援学校  
 詳しくは、県のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/40/4001/index.html>

●問い合わせ/高校教育企画室 ●  
 電話045(210)8090